

家庭教育通信

Vol.

20

監修：白井市家庭教育講座講師 富澤 優江

発行元：白井市教育委員会（教育部生涯学習課 492-1111 内 3433）

平成22年1月発行

「家庭教育通信」は、子どもたちの健やかな成長を願い、よりよい家庭教育について、皆で考え行動することを目指して、白井市教育委員会が情報を発信するものです。

「新年を迎え、家族の中で今年一年の目標をたてましたか？」

朝、駅に向かう通勤通学の人、接触を避け、誰もがお互いの距離を保つように足早に歩いていきます。その中に、「おはよう！」「いってらっしゃい」の声が響きます。小中学生の登下校を見守る地域ボランティアの方々です。暑い夏の日も、寒い冬の日も、雨の日は合羽を着て傘をさしながら毎日続けられています。しかし、多くの大人はその声にも無反応で先を急ぎます。その中で、小学生は追いかけてこをしたりおしゃべりしたりをしながら学校へ向かいます。「おはよう」の声に「おはようございます」と応える子、笑顔で手を振る子、駆け寄ってハイタッチをする子と様々です。そんな中で、ポケットに手を入れて下を向いてあいさつも何も聞こえないように通り過ぎる子もいます。この子は、ほんの少し前どんな風に自宅を出てきたのでしょうか。



母親の朝は忙しいものです。「テレビ消すわよ！」「早く食べなさい！」「遅れるでしょ！」「歯を磨いたの？」「時計を見て！」「遅刻しても知らないわよ！」「早く行きなさい！ぐずぐずしないの！」と、子どもを急かせて母親はベランダで洗濯物を干し始めました。子どもの「行ってきます...」の小さな声と玄関の扉が閉まる音がしても母親のイライラは収まりませんでした。イライラを振り払うようにバサッと洗濯物を振ってしわをのばしていると、その日休日だった夫がぼつりと言いました。「母親として忙しく、イライラするのも分かるけれど、子どもの「行ってきます」には答えないの？答えないことは、あの子の存在を無視していることにならないかな。あの子が居なくなってもいいの？もし、事故にでも遭って帰って来なかったら、君はどうするの？」と。



人は、暴力や暴言によって深く傷つきます。これは、いじめにも児童虐待にもつながる行為で、少しでも減らして、誰もが安心して暮らせるようにしたいことです。ですから、怒りを暴力や暴言としてぶつけないために、黙ることも、相手にしないこともあります。それが、【無視】です。時にはそれが、暴力や暴言に引けを取らない人を深く傷つける行為になります。

子どもが、「行ってきます」と言っても、その声が《聞こえない・その姿が見えない》ように振る舞うのです。子どもにとっては、ここにいても誰も気づいてくれない、認め

てくれない状態、つまり、自分がいなくていいということにつながります。人と関わらないことで気楽になることもありますけど、どんどん重なれば悲しくみじめになるだけです。

夫のことばで、その母親は自分のしたことが恐ろしくなったと話していました。その後は、両親自ら先に「いってらっしゃい」と声をかけ、手を振って嬉しそうに「行ってくるね」と言う子どもに『この子はきっと帰ってきてくれる』と子どもの一日の無事を祈りながら手を振り見送っているそうです。

また、手を振るのは人と別れ見送る時だけでなく出会ったときにもします。それをある中学生が作文にしていました。

中学から区外の中学校に進学した同級生に出会った時のことです。街中で自分に手を振る人に最初は戸惑ったそうですが、すぐにその同級生と分かり、2年のブランクがあっという間に縮まり心温かくなったそうです。その経験から、中学生は苦手なクラスメートに廊下で手を振ってみたそうです。相手も手を振ってこたえてくれて、それがきっかけで、話をし始め仲良くなったと記されていました。『最後に、手を振ることは簡単で誰にでもできる。自分から手を振ることで、距離は縮まり心優しくなれる』と締めくくっていました。

その通りだと思います。手を振ることは誰にでもできる簡単なことです。けれど、今は誰にでもしていいこととは限りません。しかし、自分にとって近い人・大切な人と心温まる関係を築くために欠かせないものとして大切にしたいことです。その一つが、存在を認め合う“手を振る”ことであり“あいさつ”でしょう。



子どもは、あいさつを慣用句のように身につけていくものでしょう。しかし、いつかこの中学生のように、あいさつが、お互いの存在を認め合うもの。温かい思いを伝え合い、絆を確かなものにするスタートであり、そのものであることに気づいて欲しいと思います。そのためにも、大人は意識してあいさつをしていきたいものです。

あいさつは、たくさんあります。「おはようございます」「いただきます」「めしあがれ」「ごちそうさま」「いってきます」「いってらっしゃい」「ただいま」「おかえりなさい」「お先に」「おつかれさま」「お待たせしました」「どういたしまして」「こんにちは」「こんばんは」「お大事に」「メリークリスマス」「あけましておめでとございます」そして、「ありがとうございます」等々

皆さまの今年一年が、良い年となりますように。

県内の相談場所

- ・ **家庭教育の悩みや不安について**
白井市教育委員会教育部教育センター室 492-2301
県子どもと親のサポートセンター 0120-415-446
(障害のある・あるかもしれない子どもの養育や教育について)
県総合教育センター特別支援教育部 043-227-1166
- ・ **養育上の悩みや非行・虐待などについて**
白井市家庭児童相談室 497-3477
中央児童相談所(子ども家庭110番) 043-253-4101
社会福祉法人 千葉いのちの電話 043-227-3900
- ・ **子どもの非行などについて**
千葉県警少年センター(ヤングテレホン) 0120-783497

